

2023年度 第7回 理事会議事録

日 時：2023年9月16日(土) 17:00~19:00

場 所：丸山団地自治会館 1階

参加者：現理事 11名+1名(池田前渉外) ※河村理事は途中参加

班	役職	氏名	出欠	班	役職	氏名	出欠	班	役職	氏名	出欠
9	会長	八木 康夫	○	4	広報	田谷 典嗣	○	1	防犯・防災	丸山 智明	○
5	渉外	岡田 隆	○	15	広報	岡 泰道	○	8	防犯・防災	河村 繁実	△
12	内務	八木 徹	○	14	レク	大川 武司	○	11	道路管理	本間 久幹	○
2	会計	藤倉 克之	○	3	レク	山口 輝之	×	7	会館管理	関谷 敬子	○
10	庶務	中林 稜	×	13	環境衛生	青木 洋太	×	6	デジタル	水落 和仁	×

1. 会長から会合・他団体総会等参加報告・予定・連絡事項

八木会長より、他団体との会合等について、以下の通り説明があった。

<出席済み>

子供神輿巡行(8月20日)	防災用品受領(8月24日)	堺市民センター祭(9月2日)
相談役会(9月2日)	消化ポンプ操法訓練(9月3日)	連合町内会会合(9月6日)
正副会長会(9月9日)	三町合同防災訓練 第一回会合(9月10日)	

・8/20 子供神輿巡行

参加した子供に配布するお菓子が足りなくなるほど盛況だった。

当日は警報が出るレベルの暑さだったので、次回からは夜などの涼しい時間帯の実施も検討してもらえよう意見を伝えたい。

・8/24 防災備品受領

八木会長と防犯防災担当の丸山理事・河村理事の3名で防災備品を受領した。

受領したのは防災毛布100枚、ブルーシート30枚。

毛布は会館下にて保管。ブルーシートの管理は防犯防災理事が担当。

・9/2 相談役会

役員負担の軽減、会費の引き下げ、会則の修正などコンパクトな自治会の実現に向けた検討事項の相談に加え、会館改修についても相談した。

歴代会長からは様々な意見をいただいたが、何かを決める場ではない為、とくに決議はしていない。会館改修については、近日中に特別委員会を開催し、方向性を決定したいと考えている。

余談だが、中相原の会館は約10年前の改修で、町田市からの補助1500万円に加え、東京都からも結構な額の補助金支給があったとのことで、都にも相談を検討している。

・9/3 ポンプ操法訓練

八木会長・藤倉会計・丸山理事(防犯防災)・池田前渉外の4名で参加。

エンジンポンプはやはりメンテが大変で、消防署でも10日1回程度メンテをするようにと指導を受けているとのこと。スタンドパイプは水圧の問題があるということを経験した。

今回の経験を踏まえた今年度の防災備品購入については後ほど報告を行う。

・9/6 連合町内会会合

相原フェスティバルの手伝いについての話が主だった。

丸山団地は例年駐車場の手伝いを担当しているとのこと。案内中のケガについては実行委員会(連合町会)で加入しているイベント保険、丸山団地自治会で加入している保険でカバーができるが、駐車

案内のミスにより事故が発生した場合の賠償については、保険ではカバーされないとのこと。
丸山団地が案内するのは駐車場の中だけで、停車場所の指示だけでバック駐車の補助などはしない。
よって基本的には事故があった場合でも、運転者同士での解決になるのではとのこと。

・9/9 正副会長会

主な議題は会費引き下げに関してで、藤倉会計が作成した現状説明資料をもとに議論した。
藤倉会計より、以下の補足があった。

今年予算は今までの繰越金を取り崩して成り立っているため、極力予算は使いたくない状況。
来年以降は、単年度で上手く収支を合わせる計画を作成したい。

ここ数年は団地祭りをやった年は赤字でその赤字を繰越金で賄う状態、コロナで団地が中止になっ
た年は大きく黒字が出て繰越金が膨らむ状態という、アンバランスな収支となっていた。

営利団体ではないので、本来は単年度で収入＝支出であるべきと考える。

今は今年度限定で300円にしている状態なので、いくらとするのが良いか、案の作成を始めている
段階とのこと。

八木内務より、今期の活動方針について、以下の確認の申し出があった。

今期自治会では、会館改修の問題で時間を多くとられ、活動目標を示されていないことから、前回
の正副会長会議で活動目標について検討した。

「自治会の在り方を考え、改善すべきところは改善する。気軽に入会でき、永続的に会員でいられ
る自治会、自治会役員の負担の軽減、その為には自治会のスリム化、コンパクト自治会を目指す。
会費を下げ適正化を求め、極力出費を避け経費節減する。」を、活動目標としHPに掲載したい。

⇒八木会長より、本件は岡田サポート担当と八木内務でメールのやりとりがあったと補足があり、
引き続き対応をお願いした。

ふれあいサロンみどりから、追加で5脚、椅子の購入要望があがっている。今後正副会長会の中で検
討し対応していか確認したところ、出席理事からは特に反対意見は出なかったため、引き続き、正
副会長会で対応していくこととなった。

相原フェスティバルより机の寄付要望があった。囲碁将棋クラブでは6台あれば問題ないとのこと。
他団体でもあまり使用はしていないと思われるが、過去の団地祭りではほぼすべて使っていた実績が
あると意見があがり、安易に寄付はできないと判断し、会長預かり事項となった。

・9/10 三町合同防災訓練 第一回会合

八木会長・丸山理事(防犯防災)で参加。

11/19(日)に実施。本部設営などの準備の為、防犯防災担当理事は早めに会場入りする可能性あり。
詳細は10月に行われるであろう第2回会合で決定予定。詳細判明後、回覧で周知することになる。
来年賞味期限の切れるアルファ米の処理について議論した。まずは自治会内で配布を行い、余った分
を三町合同訓練で配布することとなった。配付方法は、防犯防災担当理事を中心に検討。

2. 諸連絡

・関係団体への補助金

消防団への補助金を除き、配布が完了した。

・スポーツ広場の自転車放置問題

市に確認したところ、まずは市が張り紙し、効果が無ければ市が回収してくれるとのこと。

今後同様の問題については、まずは警察に連絡し盗難品かどうかの確認、盗難品でない場合は市(市民協
同課)に連絡すれば良い。

3. 協議と承認案件

①環境整備

11/12(日)に実施予定。(相原フェスティバルの予備日と重なる)。回覧について確認。

⇒原稿を庶務が作成し、広報に依頼することとなった。

②ごみ集積所の看板の破損について

新規看板を作成のため、過去に同様の事例があったか確認したが、とくに情報は出なかった。

⇒八木会長・青木理事(環境衛生)で、新規看板作成にかかる金額確認を進めることとなった。

また藤倉会計の方で、会計の引継ぎ資料から、過去の例がないか確認することとなった。

③相原フェスティバルの手伝い募集。

実行委員会から以下の動員を要求されている。

A) 3名・・・相フェス前日の10/7(土)、13時～日没。主にテント設営と、机椅子の配置(テント建てられる人に限る)

⇒岡田渉外、大川理事(レク)、岡理事(広報)

B) 6名・・・相フェス当日の10/8(日)、12時～17時 駐車場の誘導。薄暗くなるあたりから帰る車が多くなるので、忙しくなるとのこと。

⇒藤倉会計、岡田渉外、田谷理事(広報)、本間理事(道路管理)、丸山理事(防犯防災)、池田前渉外

C) 3名・・・相フェス翌日の10/9(月)、9時～11時。旗・ポール撤去、ゴミ拾い。

⇒岡田渉外、岡理事(広報)、関谷理事(会館管理)

④市長と語る会

9/28に開催される市長と語る会について、市側の参加者は多い時で6-7人とのことで、10人程度いれが良いとのこと。現時点での参加者を確認した。

参加予定者：八木会長(ご家族含め4名)、八木内務、岡田渉外、本間理事(道路管理)、大川理事(レク)、池田前渉外

会場は堺市民センター。

会議室のレンタル費用約1000円、人数分の飲み物が必要で、八木会長が対応予定。

事前に原稿を提出する必要がある、当日思いつきで質問をできるような会ではないとのこと。

質問がある場合は、20日頃までに八木会長に送り、八木会長がとりまとめの上、市に事前提出することとなった。

市長と語る会は丸山団地に関わることに限られる。以下の意見については、市政懇談会で伝えることになったと説明があった。

- ・相原駅に関すること(店舗ができるような都市計画)
- ・まちっこバスの要望
- ・諏訪神社交差点の問題
- ・相原駅西口からまっすぐ進み、諏訪神社前の参道にぶつかるT字路へのミラー設置について(過去に何度かお願いしたことがあるが、地権者との問題で上手くいっていない件の再提起)

⑤ふれあい動物園について

中元前会長から確認のメールがあったが、本予約まで進んでいることを確認。

事前準備で、水風船作成に時間がかかるそうなので、日が近づいた時、手の空いてる方でやることとなった。

開催は11/4(土)のため、細かい段取りは10月の理事会で確認予定。

当日使用するおもちゃは、前年実績を参考に150人分で手配予定。

⑥防災備品の購入について

丸山理事(防犯防災)より、以下の説明があった。

- ・スタンドパイプ・可搬ポンプのどちらを購入するか判断する為、ポンプ操法訓練に参加した。
- ・結果として、今期はスタンドパイプを購入し、来年度予算で可搬ポンプの購入を提案したい。
- ・スタンドパイプは取り扱い・管理が簡単。一方で可搬ポンプはエンジンがついている為、毎月倉庫から出して動かす必要があるなど、メンテが大変。丸山団地の備品である発電機も同様にメンテが必要だが、まったく出来ていない現状であるため、可搬ポンプ購入前にまずは体制を整える必要があると判断した。
- ・今年度は東京都から30万円の補助金が出るため、スタンドパイプを購入し、余った予算でマンホール対応のトイレメントセット、トランシーバーを購入したい。

八木会長から以下の補足があった。

- ・西町田出張所で、丸山団地と似た状況の例として、世田谷区の例を聞いた。世田谷区ではポンプ車が入っていけない、入っていくと救急車などが入れなくなる様な場所に、スタンドパイプが8カ所に設置されている。
- ・まずはスタンドパイプを購入し訓練体制を確立し、訓練の様子を見て自治会で扱えるレベルになったら購入を検討する。

説明を受け、以下の意見があがった。

- ・スタンドパイプの扱いについて誰でも扱えるものなのか質問があった。
⇒ポンプ操法訓練に参加者から、一通りの手順を経験するなどの簡単な説明を受ければ、だれでも扱える、購入した場合でも、現理事から30分程度説明すれば、引継ぎ可能ではないかと回答があった。
- ・トランシーバーの必要性について、確認の意見があがった。
⇒震災以外の用途として、イベントなどでも活用可能。設定すれば他町会との連絡も可能。
- ・総会承認された予算は40万円だが、想定していなかった都からの補助金は30万円であり、今期は支出超過状態であるため、30万円をベースに購入すべきではないかと意見があがった。
- ・今期の予算40万円は、大地震を想定し可搬ポンプを購入したいと考え、設定した予算である。大地震の場合は、水道が動かずスタンドパイプは使えない。貯水槽から水をくみ上げ消火ができる可搬ポンプを優先して欲しい。
- ・昨年の理事から、可搬ポンプを購入した場合の維持管理の体制等の案については引継を受けている為、可搬ポンプを購入することも可能。
- ・今回予算で購入できるのは可搬ポンプであれば1台。大震災で複数の火災が発生した場合、どこを優先するのか、トリアージの訓練は誰も受けていない。スタンドパイプの方が扱いが簡単なので、まずはスタンドパイプから始め、徐々に防災レベルを上げるのが良いのではと考える。
- ・消化設備が消火器しかないにも関わらず、消防車の入ってこれない場所があるという現状が、丸山団地の防災における一番の問題ではないか。
⇒協議の結果、防犯防災の提案したスタンドパイプ+マンホール対応トイレメントセットで30万円強になるように計算し、予算に余裕があればトランシーバーを購入することとなった。

4. 次回予定

- ・班長会 9月23日(土)18:00～ 丸山団地自治会館
- ・理事会 10月21日(土)18:00～ 丸山団地自治会館

以上